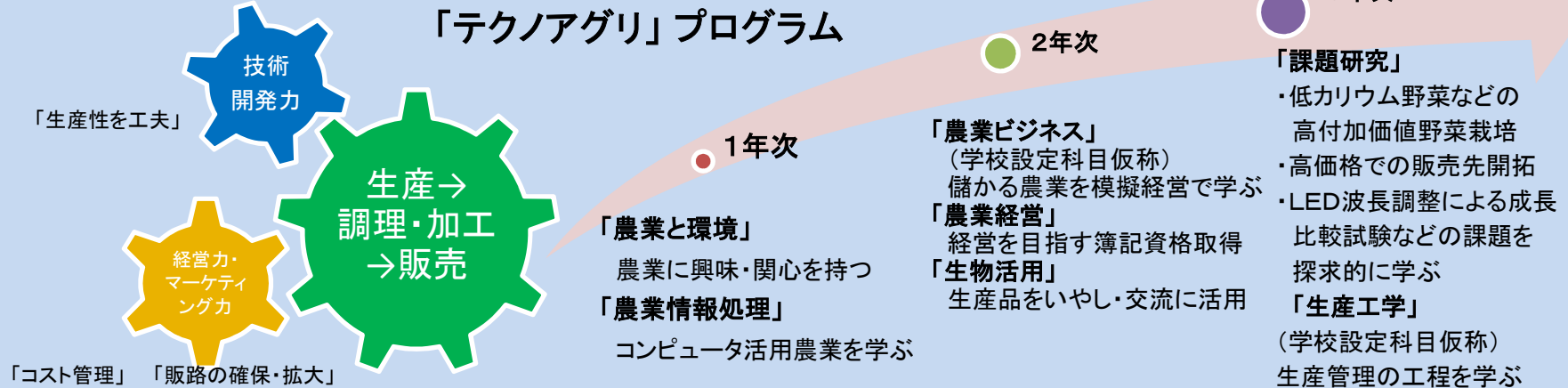


農業を中核に商業・工業と融合した産業を創り、「地域資源を活かし売れる商品をつくるテクノアグリ」人材の育成

福井県立若狭東高等学校

若狭東高校では平成25年度に開校した農・商・工が融合して学び合う総合産業高校の特色を生かして地方を創生する産業づくりを目指す

農業を中核にすえて、生産、調理・加工、販売を総合的に起業する
「テクノアグリ」プログラム



薬用植物の産地化に対応できる人材の育成

「生薬」にする薬用植物	「食品」にする薬用植物
コウギクなどを実証栽培し、販路確保の仕組みづくり	「薬膳料理」「スイーツ」などで地域の観光資源とコラボ
(連携先) 東京農業大学 県園芸研究センター	(連携先) 小浜病院中川淳庵顕彰薬草園 食品製造企業

植物工場など高度な施設園芸に対応できる人材の育成

マーケットを見すえた栽培	栽培環境のコントロール
低カリウムや高機能性成分の野菜栽培、周年栽培の利点を活用	LED光源の園芸生産装置を製作
(連携先) 神戸大学、近畿大学、京都府立大学 (農)ハイテクファーム(園芸経営体)	(連携先) 京都大学 (株)ヴァロール(LED企業)

★若狭の地域性

杉田玄白や中川淳庵が藩医をした医学・薬学の地、みけつくに、鯖街道の起点「御食国」、県内には14の植物工場(特に、この地域は電気代半額の特区)

★県農林水産部と連携したバックアップ

求められる国産の薬用植物栽培は、「いきいき里山特産品育成事業」、植物工場など高度な施設園芸は、「企業の園芸支援事業」で支援